



生命尊重推進の会 天使のほほえみ

会報 第24号

イラスト © あべまりあ

発行所
天使のほほえみ

発行人 鎌田久子
編集人 野田滋美

『資源大国ー日本、

天皇国日本よ永遠に』

理事長

鎌田久子

日本は昨年の五月、沖縄本島沖の海底周辺にできた鉱物の溜まりから、①レアメタルを含む鉱物を回収する事に成功しました。

渥美半島沖では②メタンハイドレードの事前発削に着手。鹿児島湾海底では、半導体に使われる③アンチモンの巨大鉱床が発見され、あと百年は享受可能といえます。

「熱水鉱床」は、火山性列島の周辺海域に存在するため、日本近海はこれらの条件にピッタリ適合しています。

特に沖縄の海の熱水湖は、世界最大級の黒鉱鉱床が海底下で誕生しつつある現場であり、金属鉱物資源機構理事の平氏は「地震発生帯からの手紙」と受け止めて、発掘活用に意欲を燃やしておられます。海底資源大国として、今後無限の豊饒をもたらす秘宝の国、日本。

心身を浄め癒す温泉が各地に湧き、四季に順応して主食の米・果実・野菜・森林の茸・薬草に恵まれている日本。

世界一ミネラル豊富で、美味しく、安心して飲める水資源を有する日本。

頭脳明晰・正直・勤勉・温良・典雅な日本人の気質、「八紘一宇」(全世界の民族は、みな兄弟姉妹、家族として仲睦まじく栄えてゆく)建国の理想の聖なる体現者、万世一系の天皇陛下を戴く眞理国家日本こそ、世界最高の至宝なのです。

「この天授の国日本の領土・領海・領空・民族を、北朝鮮・韓国・支那・ロシアに侵略・拉致され続けていてはならない」と、切実に思います。現憲法は廃棄・明治憲法復元改正を急ぎたい。

昨年の暮れ、「日本の国の生命と国民の生命」に、魂の軸足をしっかりと根ざした安倍政権が誕生しました。

総理は、「強い日本を取り戻す」「諸悪の根源・現憲法を改正する」と明言され、頼もしい限りです。

今回「天使のほほえみ総会記念講演会」にご登壇戴く高橋史朗先生は、今年度から執筆・講演活動は取り止めて、大東亜戦争の眞実を検証するお仕事にライフワークにすると決意されていらつしやいました。憲法と連動する教育と母体保護法について、ぜひ御指導を賜りたい

と懇願し、ご登壇の運びとなりました。皆様ぜひこの千載一遇の好機に、こぞご参加を賜りますようお願い申し上げます。

△

平成二十五年年度

総会 記念講演会

来る5月30日の日に、総会、及び、記念講演会を左記の要領で開催致します。

講演会は、明星大学教授の高橋史朗先生をお迎えして、「日本を取り戻す」のテーマで講演頂きます。

高橋史朗先生は現在、「永遠なる日本の実現のため、教育再生を基としつつ、現憲法改正に的を絞って行きたい。」との決意で、他の講演会活動なども断られています。理事長より「私共の運動は国の生命、人の生命を救うことが大きな柱で明治憲法復元・改正にも力を入れています。」と説明した所、「特別に講演しましょう。」という事で今回のご講演が実現しました。高橋先生の非常に貴重な講演会ですので、皆様どうぞ奮ってご参加下さい。

5月30日(木)
調布市文化会館 たづくり

8階 映像シアター
京王線 調布駅
(新宿より特急15分)

中央口經由 南側出口
徒歩3分

(同封の講演会チラシを参照)

・総会

午後1時から

各議案の審議、承認

・記念講演会

午後2時～4時20分

講師 明星大学教授

高橋史朗 先生

テーマ 「日本を取り戻す」

ー 未来への架け橋・

教育再生をー

お友達をお誘い下さい

年会費 個人	正会員	2千円以上
	賛助会員	5千円以上
	篤志会員	1万円以上
法人	一口	5千円以上

郵便振替口座
00100-6-316987

天使のほほえみ

(住所変更の際は是非ご連絡下さい)

一泊研修会 交流会

弁護士 國體護持塾塾長 南出喜久治 先生

「母体保護法」改正運動の新たな問題

私も母体保護法改正に向けて取り組んできて長いですが、三好誠先生とも『訴訟の組立てが出来るか』について、現在も検討しています。

数え年の文化運動も大事

別の観点でこの問題を捉えた時、我々は昔、「数え年」でやっていた。十月十日経って、生まれたら1歳。お正月が来るたびに年を重ね、みんなが喜ぶという事になっていました。

今は0歳から次の誕生日で1歳づつ増える満年齢で歳を数える様になっています。という事は、胎児はマイナスです。無価値という事になる。満年齢で勘定するという刷り込みが、むしろ「胎児を人として認めない」事になっているのです。つまり、「赤ちゃんがお腹に宿った時から生命があつて、十月十日で1歳になる」という、その思いが全く欠落している。満年齢という法律が幅をきかせて、将に「経済的理由」などで殆どが堕胎罪が無いもの様になり、堕胎が蔓延している

原因にもなっています。

文化・伝統に基づき数え年を復活する文化運動をして行く事は、堕胎禁止のダイレクトな運動に、回りを固めるための大切なことではないかとも思っています。

「身体的理由」へシフト

母体保護法の中絶を許可する条件の内「身体的理由」と『経済的理由』により母体の健康を著しく害するおそれのあるものの「の条文により大半の中絶が行われています。少し前までは「経済的理由」としての中絶が多かったが、「経済的理由を医師がその家の経済的状況が悪いから堕胎できると判断できるのか。判断できないはずだ。それは別の第三者機関を作つてそこが判断すべきなのではないか」という批判が出てくるようになってきました。

現状ではその批判を回避するために「身体的理由」を拡大解釈して使っています。心療内科などへ行かせて、ち

よつとウツの傾向があつたら「鬱病」という事で「身体的理由」にして、「経済的理由」は使わない、というやり方です。さらに拡大して「気分障害」も全部入れていきます。



ワクチンでの不妊化問題

もう一つの大きな問題はワクチン問題で、ワクチンはビル・ゲイツがはつきり言っている様に「入滅らし」をするために開発しているのです。つまり、不妊症や無精子症や人口流産を作るという事です。

日本はワクチンの産業廃棄物処理場と言われています。8割ぐらいの不良品が日本に流れて来る。全部女の子や子供達に投与して、結局中絶に行く前に、習慣性流産の不妊症にしてしまつていく。そこが大問題なのです。少子化問題よりも前に、劣子化問題、つまり子供の生理機能が劣つていく、民族が劣化して行くというのが大問題なのです。

「身体的理由」への対策要

この母体保護法の問題は、「経済的理由を削除する」というのは形式的では正しいが、実態はもう全部「身体的理由」にシフトされています。医師が自分に責任が来て、裁判になるのが怖いからです。そこが現状における大問題です。

「身体的理由」による中絶の許可が出来にくくなる様な、何らかの論理立てが必要と考えます。△

「真正護憲論」に感動

明治憲法への復元・改正を

当会理事 藤野世子

今年は皇紀二六七三年、二月十一日建国記念日は誠に意義深い日であつたと思います。

昨年は「古事記」編纂千三百年、今年伊勢神宮六十二回目の式年遷宮、出雲大社で六十年ぶりの遷宮があります。神殿御神宝が新しくなるだけでなく、「日本国と日本民族の甦り」がある。「全てが天照大御神の光に浴してひかり輝く」、なんと素晴らしい国に生まれさせてもらった事かと深い喜びを感じます。昨年十二月、弁護士の南出喜久

治先生の「真正護憲論」を読み、感動しました。

「日本国憲法は占領憲法、現皇室典範は占領典範であり、明治憲法は今も生きています」と云う事は知っていました。先生の論は実にしっかりと理論体系で、わかりやすく説得力あるものでした。

現憲法の護憲改正ではなく、現憲法廃棄・明治憲法復元して、今の時代に合ったように改正すれば、長年諸々のもぐらたたきのようにしてきたことが一気に解決する。

日本再生の鍵が南出先生の「真正護憲論」にあると確信し、今多くの心ある国民の目覚める時が来ると、期待と希望に胸膨らませています。

折りしも窓の外、厳寒の中で健気に咲く梅花数輪、目に飛び込んできました。まもなく我が家は馥郁たる梅の花の香りに包まれます。

すめろぎのみ中に坐して動かさるかたじけなきに涙こぼるる。すめろぎの光の中に生かされて日の本に満つ 民の幸せ



沖繩講演会・慰霊感謝の慰霊地訪問

理事長 鎌田久子 記 野田滋美

3月16日から18日にかけて、沖繩にて鎌田理事長の講演会開催と慰霊地訪問をいたしました。講演会は16日に沖繩護国神社で開催され、全体テーマ「沖繩に感謝を捧げる歌の集い」により、歌の集いと講演との2部構成で行われました。

1. 歌の集い

理事長 鎌田久子

歌は、君が代、ちようちよう、沖繩に捧げる歌、村祭り、螢の光、を全員で大きな声で歌いました。

「君が代」について、昭和20年5月の空襲で瓦礫と化した皇居を、敗戦直後の12月に宮城県栗原郡の鈴木徳一氏を団長とした青年団男女51名が命をかけて皇居清掃に参じました。昭和天皇のご会釈が30分もあり、「米作はどうか、食料は足りているか、」等いろいろご下問がありました。退出される時誰からともなく「君が代」が歌われ始め、しだいに全員合唱となりました。
陛下はお御足を止められ、後

ろ向きのまま聞いておられましたが、皆は号泣の中で歌い続けました。その時はGHQから君が代、日の丸は禁止されていて、歌っているのが分れば逮捕、処刑となる危険がありました。皆が歌い続けました。
「君が代」は天皇と日本国民の「紐帯」の歌であり、「国民が天皇の御代の安寧と国家の長久を祈る」歌であります。
「ちようちよう」の第三節は現在では「桜の花の 花から花へ」となっていますが、正しくは「桜の花の 栄ゆる御代に」でした。GHQにより改変されました。
「沖繩に捧げる歌」は中山末彦氏作詞、明本京静氏作曲で、沖繩戦で散った将兵と一般の方々への鎮魂と感謝の歌です。
「村祭り」の3番は現在では歌われていませんが「治まる御代に神様の めぐみ仰ぐや村祭」は国民皆んなの思いでした。
「螢の光」の三番、四番はGHQにより禁止されました。ここには「我が国土の範囲と、国民としての団結心と、国土を護

る強い思い」が述べられています。特に四番には「千島の奥も沖繩も八州(やしま)の内の守りなり」と述べられています。

戦前の教育のすばらしさ

戦前、日本の全ての教科書は、季節に合わせた言葉がふんだんに取り入れられていて、音楽、国語、修身等、同じ季節に合わせて、例えば親孝行とか、田植えとか、それにまつわる物語や歌を学んで、国家を思い、家族を思い、人々を思う心が子供に自然に伝わる様になっていました。小学校に上がるだけで、愛国心がムクムクと沸き上がって、素晴らしい日本人が育っていく様になっていました。音楽も大切な国家観養成、人格形成の柱でした。

2. 講演

理事長 鎌田久子

講演は、大東亜戦争の中で唯一国内での地上戦が行われた沖繩の、陸軍、海軍はじめ、沖繩で決起して戦って下さった民間の方々への感謝と報恩の思いが溢れるものでした。



— 沖繩は大東亜戦争の中でも一番激しい戦いをして下さいました。迫り来る54万人の米軍に対し、日本軍12万。陸軍、海軍、一般志願兵、そして一般人までも挙つて内地への攻撃が一日でも遅くなるように、懸命に戦って下さいました。激しい戦いの末、追い詰められて自決した人達、逃げ込んだ壕から逃げず従容として火炎放射器の犠牲になった人達、本当に沖繩の方々は日本の盾として奮戦して下さいました。ただただ感謝申し上げます。
あらゆる国では、戦いに敗れたら中心者は必ずむごい殺され方で殺されるのが通例です。昭和天皇は、敗戦後各地を回られました。その時GHQは「殺されに行くようなものだ。国民が殺してくれたら手が掛らなくてすむわ。」位の事を思っていました。しかし、陛下が行かれるところ全てで国民が万歳を叫び、歓喜のお出迎えをした。これにはGHQは「こんなおとぎ話のような国があるのか」と思うようになりました。
2673年続いている歴代の陛下も、「国民の苦しみは自分の苦しみだ」として、「疫病、火事、地震は私のせいだ」と起っている、この苦しみは私に与えて下さり、国民にはその苦しみが行かないよ

うにして下さい。」と神に祈ってこられました。
北海道の室蘭で栗原光男という人が「立て、万国の労働者」と赤旗を振つて、天皇陛下のご巡幸を阻止しようと構えていた所、陛下が目の前を通られると陛下の国民を思われる姿、秀囲気に感動し、赤旗を放り出して「天皇陛下万歳」を連呼し始め、周りの組合員も万歳をし出しました。
栗原さんは「自分がまちがっていた。日本の国は、ソ連のような国とは違う。中心者が違うのだ。」と解つたと言われ、真の日本人に転向されました。
大東亜戦争が終結したのも天皇陛下のおかげです。地下壕での御前会議で「自分の身はどうなつても構わない」とのお言葉の下で御聖断をされ終戦となりました。これも、天下万民の生命を大事に思召される慈愛の御心のおかげです。
昭和天皇は、本土復帰後から沖繩への行幸を切望しておられました。実現する前に病に罹



られてどうとう実現できません
でした。

思わざる病となりぬ沖繩を
訪ねて果たさむ務めありしを

という御製を残され、先帝陛下
は常に、今も沖繩の皆様のこと
を思っておられるのです。今上
陛下も同じです。

安倍政権誕生の奇跡

日本解体を狙った悪夢の民主
党政権の3年3ヶ月が終わしま
した。ついに安倍政権が誕生し、
国家再生に向けて力強い政治を
断行されています。

ここへ至るまでにはいろいろ
な奇跡がありました。自民党総
裁選で安倍さんの地方票はあま
り出ませんでした。第一回目
の投票では石破氏が過半数にわ
ずかに足らず、第二回目の国会
議員投票で108対89で石破
氏を破って当選しました。その



後見事に衆院選で自民党が大勝
し、安倍総理大臣誕生となりま
した。これは奇跡です。日本を
守護しておられる天界の神々の
援助があったと思えます。

明治憲法復元・改定へ

安倍首相の使命は日本の完全
な再生です。経済、教育、防衛
等多岐に渡りますが、根本は「現
憲法の破棄・明治憲法復元改正」
です。

日本人から国家意識を拭い去
り、天皇陛下を国家元首とは認
めず、国民主権なるまがい物の
美名のもとに天皇陛下を人民の
意志で廃止できるといふ、日本
国家始まって以来の本末転倒の
憲法により、日本人の精神が乱
れて混乱の極にきてしまってい
ます。将に「諸悪の因・現憲法」
です。

明治憲法は現在も生きていま
す。その明治憲法にまず復元し
て、緊急を要する防衛につき即
刻「国防軍」を復元創設して普
通の国の如く、領土・領海・領
空を侵犯する他国の船、飛行機
人を強制的に駆逐、排除できる
状況にしなければなりません。
これが一番早く、かつ法的合法
性、連続性が保てる方法です。
安倍首相は「現憲法は諸悪の

根源」という事をしっかりと分つて
下さっています。

その実現のためには参議院選挙
で改憲勢力の3分の2以上の当選
が必要となります。どうしても自
民党に圧倒的過半数を獲得して
もらわなければなりません。

当会是有村治子先生を応援

「天使のほほえみ」は顧問に山谷
えり子先生と有村治子先生にご就
任頂いております。今回の参議院選
挙は有村治子先生が改選となりま
す。私共は今回も有村治子先生を
応援いたします。

日本会議では、有村治子先生と
衛藤晟一先生を押ししています。両先
生には絶対に上位当選して頂き、日
本再生に向けてお力を発揮して頂
きたいと祈念しております。

3. 感謝と慰霊の慰霊地訪問

記 野田滋美

17日、18日は沖繩の激戦地、
慰霊地を訪問して将兵・戦没者の慰
霊と感謝の誠を捧げる旅をしまし
た。当日はレンタカーを借りて回る
予定にしましたが、急遽会員の

大城さんから自分の車で案内をし
て下さるお申し出があり、有り難く
お願いする事にしました。全行程5
人での慰霊・感謝の旅でした。

17日は、海軍司令部壕、平
和祈念堂、平和の礎、摩文仁の
丘、健児の塔、ひめゆりの塔、
平和の塔(嘉屋武(きやん)岬)
追いつめられて多くの人が高い
断崖から飛び降りて自決され
た)を回りました。これだけで
夕方まで丸一日かかりました。

18日は豪雨の中での見学と
なりました。嘉手納基地、普天
間第二小学校、普天間基地・嘉
数(かかず)高台公園(陸軍激
戦地)を半日の日程で回りました。

行程の最初に海軍司令部壕へ
行き展示写真・説明を見る事
によって、図らずも沖繩戦の全体
像を知る事ができたのは大変良
い研修でした。そして海軍司令
部壕、摩文仁の丘、健児の塔、
嘉屋武岬、嘉数高台公園の激戦
地、慰霊地においては、「尽忠の
精霊に告ぐる詞(別途掲載)も
読誦し、慰霊と感謝を捧げさせ
て頂きました。

18日は豪雨で与那国島に被
害が出たと報道されていましたが、
私達も車のフロントガラス
が雨で視界不良になる大変な豪
雨でした。その中で、沖繩の米
軍基地の現状はどうなっている

のかを知るために、嘉手納基地
普天間基地をそれぞれ展望台か
ら見学しました。そこには3、4
人の中国の情報部員とおぼしき
人物が基地の写真撮影や監視を
していて、まさに此処は中国軍と
の最前線であると認識させられ
ました。

豪雨の中でしたが、不思議と各
見学地・慰霊地に着くと雨が小止
みになり、特に嘉数高台公園では
着くと雨が上がり、「慰霊の詞」
読誦と祈りの最中に一時陽が射
して来るといふ奇瑞が起き、英霊
の方々、一般戦闘員、一般戦没者
の方々が喜んでおられるのだろ
うかと、思わず涙があふれ、感謝
の祈りを心の内でさせて頂きま
した。

慰霊・感謝の訪問まとめ

短い日程でしたが、慰霊地を回
れるだけ回らせて頂き、「沖繩戦
で刀折れ、矢尽き、それでも懸命
に戦って下さった将兵や沖繩の
人達への熱い感謝の祈りを捧げ
させて頂きました。

これだけの行程を的確に回る
のは、土地勘の全く無い私達だけ
ではとても無理だったと思いま
す。本当に、大城さんには感謝の
念で一杯です。ありがとうございました。
△

米子講演会

いのちと人権教養講座 感謝報告

米子市老人クラブ連合会会長 当会理事 今岡祐一

この度、3月22日(金)

鎌田久子先生にはご多用中にもかかわらず、遠路、米子まで御出講賜り、誠にありがとうございました。

本会は会員相互の親睦行事を進めて参りましたが、昨年より地域社会新興のお役に立つ公益優先の奉仕活動に重点を移し、利他愛行の実践に努力を傾注しております。

この「地域支え合い事業」の一環として企画されたのが、一般社会公開の「人づくり公開教養講座」であります。

隔月開催をして、今回は第一部は午後、シンポジウム「大切な生命と人権」のテーマで学習しました。パネリストは三人で、

会社社長・米子経営者漁火会幹事長 北國恵久氏

自営業・教育を考える鳥取県民の会事務局長 熊坂雄一郎氏

お腹の赤ちゃん大切に「天使のほほえみ」理事長 鎌田久子氏
コーディネーター、米子市老人クラブ連合会長 今岡祐一

感謝報告

以上四名が、現代社会の病巣を如何に明るく治癒させるか、

それぞれの専門分野の知識を披露され、意見を集約しました。問題は多岐にわたり、いじめや体罰による自殺、天災地変による遭難者、街頭での無差別殺人、交通事故の犠牲者、海外での戦乱、テロ、拉致誘拐された被害者とそのご家族の悲哀、高齢者・幼児への虐待、安易な妊娠中絶、戦死者、戦没者、海外遺骨の蒐集などが、如何に國民意識に粗末に扱われているか、自責と反省の心打たれる集会となりました。

第二部は夜、午後と同じ米子市「ふれあいの里」にて、文化創造講演会「日本人の幸福」と銘打って、講師 鎌田久子先生の「天皇國日本」の息もつかせぬ独壇場のご講演に、聴衆は感激感嘆の雰囲気には酔いしれました。

誠に簡単ですが、感謝のご報告をさせていただきます。

△

尽忠の精霊に告ぐる詞

谷口雅春先生

過ぐる大東亜戦争に国を護る楯となり国を支ふる柱となり忠誠義烈尚靈界に逝き給ひし後々までも国を護る精神を棄て給ふことなく まことに靖国の天使とも称ふべき諸霊を この御舎に招きまつり 聖經を誦誦し真理の聖詞を献げたまつりて其の精霊を芳ひ奉らんとす

惟ふに 大東亜戦争は 外見日本国敗戦の形をとりて終結したりとはいへ あの戦争目的たる大東亜民族の解放は実現したるなり 戦争目的を達したる戦争はまことに勝利といふほかなきなり

今や人類進化の一周期の終りにのぞみすべての人類は その皮膚の色彩の相異にかかはることなく平等の尊厳を恢復し平等の取扱ひを受け その国土は独立し 万民平等の自由が確保せらるべき理想実現の時期が近づきたりしが この理想実現のためには 何れの国の民族かが尊

き犠牲となつて 有色民族に『神の子』の実相を自覚せしめその独立精神を喚起せしめる天使たるの役割を演ずる必要ありしなり

汝たち日本国民はこの人類進化の一周期に方り選ばれて南方諸民族にすべての人類は平等に神の子なりとの理想を自覚せしめる役割を神より与へられて大東亜戦争の緒戦に於て連戦連勝南方に殺到して南方諸民族のホープとなり有色民族も『神の子』なれば決して白色民族の奴隷たる状態に安んずるべきに非ずとの精神を自覚せしめ よくこの任務を果して今や南方アジア諸民族は勿論アフリカの諸民族の始んど全部をしてその独立と自由とを恢復せしめたり

まことにこれ汝たちの勇戦奮闘の功績にして決して大東亜戦争は無駄の戦争に非ず また汝たちの戦死も決して犬死にてはあらざりしなり 貴下たちはよく大東亜民族を解放し 更に進んではずすべての人類解放の尊き天使としての任務を果したるなり

今後世界は更に地上人類最後の進化の一大時期を迎へんとして霊界人界ともに大変動をおこさんとす 契機を孕みつつあり 庶幾くは茲に吾らが誦誦する 聖經の真理を傾聴し給ひ 人間神の子 一切罪も業も病も死もなき真理を充分に体得し給ひ更に大神のみ護りと導きとを受

け給ひ 靈知神通を愈々増したまひ 天かけり国かけりて 祖国の護りとなり給ふと共に人類全体の平和と幸福とに貢献し給はんことを 謹みて茲に請ひ願ふものなり

さらばこの尽忠報国の諸霊たちよ 庶幾くは吾らが今誦誦する聖經の真理を受け給へと白す

沖繩での慰霊では、この詞をそれぞれの慰霊地で誦誦しました。

絵本のくにへ

絵本に見入る 膝のなかの 小さなまるい背中 やわらかな指は しつかりと私の腕に



ふいにあなたはふりかえり私を見上げる やがて 安心したように につこり笑って

あなたは絵本に戻ってゆく

「いのちへ」より にしだひろみ

日本を想う後然のエッセイ

今啓ハール 今井啓介社長

1. 成長戦略

再生の二本の矢一金融政策・財政政策・成長戦略

日本の智価戦略と智略が、日本の未来と人類救済に繋がる。

安倍晋三政権が十年続く事を期待する。

地質学の加藤泰浩教授が、小笠原諸島周辺の排他的経済水域で、レアアース(希土類土)を発見したニュースは凄い。この方が地質学者を志すきっかけとなったのが、小学校の実験室で見た金色に輝く黄銅鉱の標本だったそうだ。

科学技術立国日本の存在は、世界の人々の健康や資源、エネルギー食糧問題の開発・解決に貢献する。日本の頭脳に自信をもった教育をしてもらいたい。ゆとり教育などは即刻やめて戴きたい。

2. 日本自立へ

「日本を取り戻す」一集团的自衛権行使と憲法九条改正。

「戦後から今日までアメリカに委ねてきた国民の生命と財産を、自ら守る国家最大の義務と

使命を自国に取り戻す。」「自国の政治経済上の利益を中心にした外交を自主外交と言う。」

戦後の政治家の中で初めて安倍総裁が掲げたスローガンである。米軍の力の安全と経済戦略で逃げ隠れしてきた日本も、そろそろ自立する時が来た。

安倍さん、やろうぜ。



3. 放射能は怖くない

原発で、強制立ち退きや除染は愚の骨頂である。

「放射線を浴びるとガンになる」「遺伝子が傷付いて奇形児が生まれる、白血病になる」と言われているが、広島長崎にその後の追跡調査でガン患者が増えているか? 全国平均の発生率は、白血病が増えている事実もありません。原爆投下での死者の大部分は、焼死と建物損壊によるものだ。

放射線はあるものの、除染はしてはいません。

4. 「原発は安全」の宣言を

放射能の人体に及ぼす危険性

は線量の問題はあるも、原発と原子爆弾投下の比を考えると、福島と原爆の差は1,500万倍である。

広島、長崎、チェルノブイリの調査・精査をし、さらに放射能の事実を明確に把握している専門家も、原発の事に慮って声をひそめているが、遠慮なく学問の正確さを積極的に発言される事を望む。

日本の東電がこの正確な発言をする事によって、日本の命運は大きく差が出てくるのではないか。

原子力の研究は物理学の最重要分野である。研究者を近隣の国に引き抜かれるままにしないで、このエネルギー問題に対し、日本と世界を救う事になる原子力に力を投入すれば、世界の近代史を創る事になる。日本の技術に自信を持つと。

今後の行事予定

1、総会、記念講演会

日時 5/30(木)

講師 高橋史朗先生

場所 たづくり 映像シアター

調布駅南口歩3分

2、北海道 旭川講演会

日時 8/4(日)

場所 旭川市 会場未定

3、首都圏研修会

日時 9/28(土)

場所 代々木青少年センター センター棟405号室

小田急線「参宮橋」歩7分

4、代々木一泊研修会

日時 11/23(土)24(日)

講師 未定

場所 代々木青少年センター

カルチャー棟・工芸室

活動報告

・「現憲法破棄、明治憲法復元・改正の依頼」を国会議員、有識者に送りました。「母体保護法」も憲法破棄と同時に廃止して頂きたいと訴えました。

・「子宮頸がん予防ワクチンの危険性」も国会議員、有識者に送り、国家での予防接種を中止してもらおうように依頼しました。

又そのチラシを毎日個別配布を続けています。

・3月には沖繩、米子での講演会が開催され、生命尊重の訴えがなされました。

・7月参院選に向け、当会では顧問、「有村治子議員の応援の後援会作り」を推進中です。ご協力よろしくお願い致します。

日本会議で推薦されている有村治子先生と衝藤成一先生には高位当選をして頂きたいと祈念しております。自民が絶対過半数取れるよう皆で頑張りましょう。



会員による「和歌」の紹介

*春の園遊会

被災者に向ける笑顔は念願の 再会喜ぶ両親のよう

皇后様 陛下を支えつ和やかに 語らい歩まる春の園遊

*北海道旭川、 稚内

・上川神社脇 アイヌ信仰の詳説に 和人とアイヌの和合を見たり

・春霞 宗谷岬に晴れ待てど 樺太未だ遠き島かな

(神奈川県・野田富美子)

